

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	人間福祉研究科
大項目	5 学生の受け入れ (研究科)
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

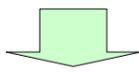
- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 人間福祉研究科が求める大学院生像を具体化し、ホームページや大学院案内等の関連するすべての広報媒体で明示する。	→ 関西学院大学で出されている学生の受け入れに関するすべての広報媒体での公表。	B	B			
2. より厳正な選抜試験を実施し、人間福祉研究科にふさわしい大学院生を選抜する。	→ 入学生に対するアンケート調査および入学生の卒業後の進路に関する報告書の作成。	C	C			
3. 研究科への門戸を広く開くために外国人、社会人等の特別学生の入学者数を一定数確保するための制度導入を検討する。	→ 基礎的な知識に関連する科目および日本語教育科目設置に関する研究科での年1回の委員会の開催。	B	B			
4. 9月と2月の年2回実施されている大学院入試の公正さや結果を比較検証する。	→ 大学院諸問題検討委員会での年1回の検討。	B	B			
			☆			
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

◎**効果が上がっている事項** ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】**効果が上がっている事項** 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目5.0.1	受け入れ学生の方針については、大学院諸問題検討委員会で活発に検討を重ねてきている。
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】**伸長させるための方策**

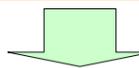
注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目5.0.1	社会人や外国人受験生に対する入試問題の適切性についてより検討を重ねていく予定である。
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

◎**改善すべき事項** ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】**改善すべき事項** 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】**改善方策**

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

◎**自由記述**

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. **学内第三者評価**

＜評価専門委員会の評価＞

【学外委員】

○収容定員に対する在籍学生数比率は前期課程は100%を超えているのに対して、後期課程は5割強の水準にとどまっています。

【学内委員】

○学生の受け入れ方針については、すでに明示しているところ、さらに明確化する検討を行っているように思われますが、小項目5.0.1などの説明は少しわかりにくいように思います。

○2010年度現在、前期課程の収容定員16名のところ、在籍19名ですが、後期課程の収容定員15名のところ、在籍8名です。前期課程・後期課程含む大学院でも、大学基準協会による在籍学生数比率の基準は、なお1.00です(大学基準協会編「大学評価」ハンドブック＜平成23年4月＞139ページ)ので、後期課程について改善が期待されます。

○小項目5.0.1の(受け入れ方針)は受け入れ方針そのものを記載してください。その上で、(説明)に説明をお願いします。

○小項目5.0.2は丁寧な説明です。大学基準協会の留意すべき事項を参照され、学生募集が公正・適正であるかが加えられれば、なお良いと思います。また、各種情報を公表することによる透明性などの確保についても記述が及べば優れていると思います。

○大学院における定員管理は本大学だけの問題ではありませんが、一層の努力が期待されます。志願者を増やす努力が求められます。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目5.0.1

基盤評価：「理念・目的、教育目標を踏まえ、求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにした学生の受け入れ方針を、学部・研究科ごとに定めていること」「公的な刊行物、ホームページ等によって、学生の受け入れ方針を、受験生を含む社会一般に公表していること」

○小項目5.0.2

基盤評価：「学生募集、入学者選抜の方法が、受験生に対して公正な機会を保証し、かつ大学教育を受けるための能力・適性等を適切に判定するものであること」

○小項目5.0.3

基盤評価：「【学士】学部における過去5年の入学定員に対する入学者数比率の平均が1.00である（※）」
(略)

「【学士】学部における収容定員に対する在籍学生数比率が1.00である（※）」
(略)

「【学士】学部における編入学定員に対する在籍学生数比率が1.00である（※）」
(略)

「【修士・博士・専門職学位課程】部局化された大学院研究科や独立大学院などにおいて、在籍学生数比率が1.00である」

○小項目5.0.4

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、学生の受け入れの適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

○小項目5.0.1～5.0.3

達成度評価：「学生募集、選抜の実施状況等は、公正・適切なものである。（評価に当たっては、当該大学の説明・証明から、下記のことが明らかであるかに留意する。）

- ・学生の受け入れ方針と、学生募集、選抜の方法等の整合性
- ・学生の受け入れを適切に行うための必要な体制の整備

IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

○後期課程の在籍学生数比率が5割強であることについては、基準1.00を目指して今後努力をすると共に後期課程募集のための対策の検討を始める。

○小項目5.0.1（受け入れ方針）

★ 広く創造力、課題発見能力、課題解決能力そして実行力を培う人材を育成するという建学の精神に基づき、高い研究力と専門性をもった学生を受け入れることとしている。

○小項目5.0.1（説明）

上記方針では具体的な受け入れ方針とは十分になっていないのが現状である。現在、大学院諸問題検討委員会において具体化の検討を始めているところである。